



評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(3) 収支状況		
① 収支状況 収支状況について	収入 17,450,696円 利用料 3,262,055円 委託料 13,679,000円 その他 509,641円 支出 16,181,394円 人件費 11,127,623円 事務費 733,980円 事業費 4,319,791円 差額 1,269,302円  収入の柱は、支援事業委託収入であり、収入の約80%を占めている。支出は、70%が人件費となっている。 この状況の中でも次年度へ繰越金を残すことができた。	施設の安定的な運営のためには経営面、特に財政上の安定が必要である。 委託料が収入の大部分を占めるため、その他の収入を増加させる方策の実施を望む。
(4) その他		
① 利用者からの意見・要望等への対応	要望・意見などは特に出されなかった。	苦情等は出されなかったが、継続して利用者の声を聞く機会は設けていくよう望む。
② 個人情報の保護	ケース記録などの情報は、鍵のかかる保管庫にて管理し、ホームからFDなど持ち出さないようしている。	個人情報の管理に対する意識はホーム全体に認識されるよう継続した指導を行っていく。

### 3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

指定管理の初年度ということもあり、手探りでの実施ということもあるが、全利用者の職場へ出向き利用者の状況把握に努めるなど積極的な姿勢が見られる。今後については、利用者がホームでの生活を楽しめるような行事を増やし利用者同士の交流の機会や地域との交流の機会の増加を希望する。

### 4 来年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

施設運営には、地域の方が重要であるため、関係機関だけでなく、地域団体等との交流(地域イベントへの参加など)の機会をこれからは可能な限り作って欲しい。